

アース・エコ メールマガジン

Earth Eco Mail Magazine

地球 生態 郵便 雑誌

지구 친환경 뉴스레터

アース・エコ
メールマガジン No.9-15
2018年11月7日(立冬)
特定非営利活動法人
アース・エコ 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にあース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

今年も2カ月を残すだけです、今年は大雪と低温の冬、大雨と高温の春、観測史上最も早い梅雨明け、豪雨、猛暑の夏、度重なる台風上陸、2回の大地震、相次ぐ火山噴火と災害が続きました。関東には大きな災害がありませんでしたが、油断なく自分でもできる限りの対策を心がけましょう。



なるほど! 体験出前教室 神奈川県内の養護学校

10月26日(金) 神奈川県内の養護学校で「なるほど! 体験出前教室」の出前授業「ソーラーオルゴールを鳴らして温暖化防止」を行いました。対象は小学生1名と中学生3名。障がいがある子どもたちではないので授業を行っても普通の児童・生徒と全く違いはありません。

時間が50分に限られており、「温暖化防止」の部分はあらかじめ資料を送って事前学習をお願いしたので、今回はエネルギーに関連した実験とソーラーオルゴール工作に絞って授業を行いました。

実験は「手回し発電で40W電球つくかな」、太陽光・風力発電、燃料電池自動車の3種類を行いました。いずれも体を動かす体験型の実験なので、子どもたちは楽しそうに実験に取り組みました。ソーラーオルゴール工作も全員順調に組み立てることができました。

盛沢山の内容でしたが、児童・生徒4名に対して講師・スタッフ4名がマンツーマンで授業を進めたため、50分の授業時間に収めることができましたが、子どもたちにとっては目まぐるしい授業だったかも知れません。 [桑原]



ソーラーオルゴール工作に取り組む子どもたち

麻布大学祭



温対協とともに出展した講義室

10月27日(土)、28日(日)の2日間、JR横浜線矢部駅近くの麻布大学で大学祭が開催され、アース・エコはさがみはら地球温暖化対策協議会(温対協)とともにブース出展しました。

今回の出展は、日本野生動物医学会学生支部の代表を務める学生さんからの呼びかけがきっかけです。野生動物に関わる研究や活動を深め、個々の学生が自分なりの野生動物との関わり方を見つけ行動していくことを目標に活動しているグループで、大学祭出展の目的は「野生動物を含む環境保全に関する活動報告と一般に向けた啓発活動」です。ブースに割り当てられた講義室に、学外の環境団体の出展スペースを作ってくれました。

アース・エコは同じ日に別の活動があってスタッフを割くのが難しかったため、温対協との共同出展としました。アース・エコの活動を紹介するパネル展示とパンフレット配布のみの出展でしたが、今回の学生さんとコラボによる出展が新たな活動に発展することを期待しています。 [桑原]

白山地区センターまつり 横浜市白山地区センター

10月28日(日)横浜市緑区の横浜市白山地区センターで「白山地区センターまつり」が開催されました。アース・エコは「省エネ体験コーナー」と銘うち、①電車の競走、②電球消費電力比較、③ドライバー消費電力測定で参加しました。

電車の競走は手回し発電 vs 太陽光発電です。ソーラーパネルで電気を作り電池にためた電気で、楕円形の2本の線路の外側を赤い電車が走る。内側は、手回し発電機を2人で回してその電気で機関車トーマスを走らせ、どちらが早いかの競走です。「どうして赤い電車はずっと走っているの?」と質問してくる子もいます。

力つきた小さい子からバトンタッチした年長者が手回し発電機をグングン回します。機関車トーマスが赤い電車を追い越すと拍手や歓声が上がります。時間がたつにつれ、手回し発電機を使って競走したい子が列を作るようになりました。3歳の子から小学4、5年生など120人、父兄をいれると250人位の参加です。

電球消費電力比較では、ほとんどの人が「LEDに替えた。もう白熱球売ってないから。」という声も聞かれました。

ドライバー消費電力測定で、消費電力が1,000W近くなるのに驚く子。「どうしたらよいと思う?」と問うと、しばらく考えて「ドライバーを使う前にタオルで毛の水分取るといいんだ。」と自身に言い聞かせている男子もいました。

午前10時から午後3時まで、楽しいお祭りに参加できました。 [鳥居]



手回し発電 vs 太陽光発電で
電車の競走



電球消費電力比較の実験

これからの活動予定

- ◇ 11月10日(土) すぎの子まつり 横浜市立長津田第二小学校
- ◇ 11月12日(月) なるほど! 体験出前教室 鎌倉市内の小学校
- ◇ 11月13日(火)、27日(火) かながわ環境教室 横浜市青葉区内の小学校理科クラブ
- ◇ 11月18日(日) 藤が丘地区センターまつり 横浜市藤が丘地区センター
- ◇ 11月20日(火) なるほど! 体験出前教室 川崎市川崎内の小学校
- ◇ 11月21日(水) かながわ環境教室 葉山町内の小学校②
- ◇ 12月1日(土) クリスマス親子エコ工作塾 横浜市藤が丘地区センター
- ◇ 12月8日(土) クリスマス親子エコ工作教室 横浜市長津田地区センター
- ◇ 12月10日(月) かながわ環境教室 横浜市緑区内の小学校
- ◇ 12月15日(土) クリスマス親子エコ工作教室 横浜市菊名地区センター
- ◇ 12月22日(土) さがみはら地域づくり大学 ユニコムプラザさがみはら
- ◇ 平成31年1月22日(火) かながわ環境教室 葉山町内の小学校③

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

11月の例会・勉強会

11月19日(月) 13:30-16:30
かながわ県民センター会議室
会員の皆様のご参加をお待ちしています。

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

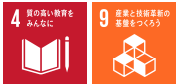
アース・エコは持続可能な社会の実現を目指します



地球温暖化などの気候変動とその対策(緩和と適応)について理解が深まり、行動に移す人が増えるように、以下の活動に取り組みます。【13】

- 電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの使用効率を良くする方法を伝え、家庭での省エネの実践を呼びかけます。【7】
- 限りある資源やエネルギーに過度に依存した生活から自然と調和した生活へと、ライフスタイルの変更を呼びかけます。【12】
- 持続可能な社会の姿とそれを実現するための知恵をより多くの人と共有し、行動します。【4】
- 科学者・技術者をめざす子どもが増えるように、科学・技術のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えます。【9】

以上の活動を、行政、学校、市民団体などとのパートナーシップにより進めます。【17】




地球温暖化やボランティア活動に関心のある方
私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています



アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com